

なかつがわ



平成30年 中津川市議会 12月定例会



消防出初式 分列行進

目次

市民と議会の対話集会を開催しました	②
議案	⑥
予算決算委員会報告	⑨
常任委員会報告	⑪
特別委員会報告	⑫
一般質問	⑭
常任委員会先進都市行政視察報告	⑰
平成31年3月定例会日程／編集後記	⑳

トピックス

■市民と議会の対話集会

多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。(P2～5)

■スポーツ政策事業

米国レスリング協会が、中津川市を2020年東京五輪の事前合宿地に決定しました。(P10)

市民と議会の対話

市民の皆様と議員との質疑・応答（抜粋）

学校関係

質問：小中学校のエアコン設置について、他市と比べて中津川市の取組みが鈍いと思う。中津川市議会のこれまでの取組みと今後について伺います。

回答：3年間で設置すると聞いていますが、一刻も早く設置するよう働きかけていきます。

質問：学校のトイレに洋式が少ない。

回答：徐々に進めていくことになっております。

質問：子どもが自然に触れる教育が目立っています。

中津川市もその方向に進めていただきたい。

回答：今後そのような動きが出てくると考えます。



まちづくり関係

質問：住民自治におけるまちづくりの視察を行っています。どのような内容であったか伺います。

回答：住民自治とまちづくりについて視察をしました。特徴は、中津川市では要綱ですが、条例として位置づけられ、まちづくりが強いものとなっています。行政だけではまちづくりができなくなってきたと認識させられました。

質問：中津川市は恵那市と比べ、地域の活性化などの動きが低いと聞いているがどうか。

回答：地域活性化は、区長会とまちづくり協議会が中心となって取り組んでいます。定住促進については定住推進部をつくり取り組んでいます。恵那市と比べて劣っているとは考えていません。住みよいまちランキングでは良い評価がされており頑張っていると考えます。

苗木城跡

質問：苗木城跡は、規模は小さいが眺望は日本の5本の指に入る。さくら公園から城跡の付近を伐採し、桜と紅葉を植え春も秋も楽しめるようにしたらどうか。

回答：苗木城跡の眺望は素晴らしい。特産品や食べ物を地域の方が取り組んでいますが、さらに盛り上がるようにやっていきたい。中津川市には素晴らしい観光地がありますので、商工観光部に提言していきます。

通学費支援

質問：付知・加子母地区からの高校生の通学費は高額となります。未就学児並みの手厚い支援が、高校生や大学生にはないのではと考えてほしい。

回答：高校生や大学生の支援について、市として考えなくてはならないと考えます。ちなみに、平成29年度の通学補助の実績は、176軒が補助を受け、12万円を引いた額の半額が補助されています。

斎場

質問：現在の斎場は老朽化しており新斎場の早期建設を望むが、進捗状況を教えてください。

回答：市長から苗木区長会やまちづくり協議会に苗木地区での建設をお願いし、候補地を検討し地元をお願いしている状況です。

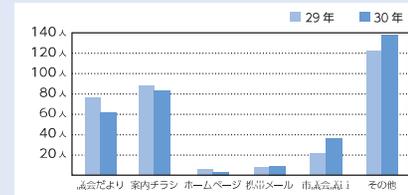
集会を開催しました

今年も多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。多くのご質問、ご意見、ご要望を議会として大切に受け止め、今後の活動に生かしてまいります。

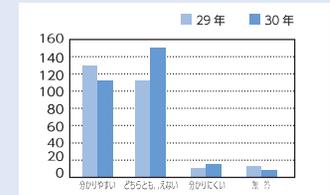


開催日	会場	参加者数			アンケート回収枚数
		男	女	計	
11月5日(月)	健康福祉会館	40	0	40	38
	神坂公民館	25	1	26	23
	坂本公民館	31	2	33	31
11月6日(火)	蛭川公民館	38	1	39	38
	加子母公民館	41	3	44	40
	福岡公民館	12	0	12	12
11月7日(水)	阿木公民館	45	1	46	40
	苗木公民館	43	2	45	41
	山口公民館	34	2	36	30
合計		309	12	321	293

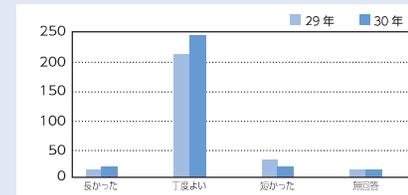
開催を知った情報先



内容の理解度



所要時間について



議会の取組みについて



市民と議会の対話集会アンケート意見・要望（抜粋）

中津会場

- ・質問者と議員の思いが違っていたような気がして、内容・具体性が無い件が多かった。
- ・中津地区の対話集会を3地区（東、南、西）に分けてほしい。
- ・議会報告について、経過のみでなく「だからどうする」の話を期待します。

神坂会場

- ・地域活性化につながる話が出来て良かった。
- ・新斎場建設促進については市民の主要課題であり、議会もさらに真剣に取り組んでほしい。

蛭川会場

- ・スピード感が無い。課題を明確にしてどう行動するのか議会として報告してください。
- ・対話集会であれば、対話を重視して報告は少なくして欲しい。

加子母会場

- ・色々活動をされていて参考になった。学童保育のあり方を考えていただきたい。
- ・中津川市の未来ビジョンが見えない。あったとしても間こえてこない。
- ・民主主義の根幹をなす大変重要な取組みだと思えます。

苗木会場

- ・対話ができる場として今後も開催していただきたい。もっと若者も参加できると良い。
- ・常任委員会、特別委員会において防災に関する取組みが弱いと思う。防災に関する取組みを要望します。
- ・長く続けて下さい。続けることが大事です。

阿木会場

- ・出された意見等について、常任委員会、特別委員会で議論を深め、施策に反映してほしい。
- ・地域の問題はそれぞれあり、地域にあった対応をお願いします。

山口会場

- ・議会報告について、項目だけでなくもう少し中身に触れた報告があると良かった。特にリニア、病院については住民の関心ごとである。
- ・議会活動をもっと具体的に、中津川市の議員として全体を見ていただきたい。
- ・テーマを絞って話し合うこともよいのではないかな。より具体的に展開できると良い。

対話集会にご参加いただきありがとうございます。アンケートにご記入いただいたご意見につきましては、今後の議会活動において検討してまいります。

※市民と議会の対話集会でのご意見など詳細については、中津川市議会公式ホームページをご覧ください。

市民と議会の対話集会を開催しました

市民の皆様と議員との質疑・応答（抜粋）

斎場

- 質問：坂下、付知の斎場の今後について伺います。
回答：坂下火葬場は、大きな修理が必要となった場合は廃止になることが決まっています。付知火葬場は、新しい火葬場の場所により変更となる可能性があります。現時点では将来的にも残す方向です。

リニア関係

- 質問：リニアの動向について伺います。
回答：議会ではリニア特別委員会を設置し調査研究をしています。11月1日に山口トンネル工事の安全祈願式が行われました。2027年の完成を目指して、車両基地、瀬戸トンネル、坂本駅周辺整備などできる所から進めていくことになっています。
質問：リニア送電線について今後どうなっていくですか。
回答：武並から笠置を経由して蛭川・福岡・苗木地内と延伸される計画です。地元からの意見も多く、中部電力、JRに伝えて対応をお願いしているところです。
質問：リニアによるまちづくりは、大きな組織で国を動かすことが必要だと思えますが。
回答：中津川市・東濃地域だけでなく、岐阜県全体で会議を立ち上げており、JRとの交渉をしている状況です。国会議員を通して要望・陳情を行っています。

太陽光発電

- 質問：中津川市には条例がありますか。
回答：条例を制定しています。主な内容は以下のとおりです。
①1,000㎡を超える土地に設置する太陽光発電事業を対象とする。
②事業者は、中津川市長あてに届け出協議を行わなければならない。
③事業者は、自治会等への説明会を開催しなければならない。
④市長は必要があると認めるときは、事業者に指導・助言又は催告を行う。

文化活動

- 質問：公民館はこの先どうなりますか。
回答：現在3公民館が指定管理となっています。受ける団体等が整えばその方向になっていくと考えます。

その他

- 質問：他市からの行政視察などの状況はどうですか。
回答：多くの視察を受け入れています。特にリニア駅周辺整備事業や移住定住対策、小水力発電事業、域学連携事業の視察が多いです。
質問：議員定数の削減については検討されていますか。
回答：現在のところ検討されていません。
質問：中津川市の病院に医師が来てもらえる奨学金制度はありませんか。
回答：東濃5市で奨学金制度を持っており、何人か奨学金を借りています。

12月定例会は、本会議初日に工事請負契約議案1件と平成30年度一般会計補正予算(第7号)を原案通り可決し、一般会計補正予算(第8号)など18議案と請願2件、陳情4件を所管の委員会に付託。最終日は、追加議案9件を含め付託した27議案と委員会提出議案1件を原案通り可決し、請願2件は、1件を採択、1件を不採択しました。

中津川市地域事務所設置条例及び中津川市地域総合事務所設置条例の一部改正

(全会一致)

地域の要望に基づき、山口地区馬籠地域の所管を山口総合事務所から神坂事務所へ変更するため、改正するものです。

中津川市奨学資金貸与条例の一部改正

(全会一致)

中津川市病児保育所の設置等に関する条例の制定

(全会一致)

児童が病気の際に保護者が就労しているなどの理由で、集団保育や家庭での保育が困難な保護者を支援し、安心して子育てができる環境を中津川市民病院敷地に整備するため、制定するものです。
・対象者 市内に住所を有する生後8ヶ月/小学6年生までの者、他にも条件があります。

工事請負契約の締結

(全会一致)

学校教育法の一部改正により、「専門職大学及び専門職短期大学」の制度が設けられたことに伴い、当市の奨学資金貸与の資格要件に、「専門職大学及び専門職短期大学」を加えるため、改正するものです。

契約金額
2億7百2万3千40円
契約の相手方
中津川市付知町9595番地1
株式会社 田口建設

工事請負契約の締結

(全会一致)

工事名 坂本290号線道路改良工事(第3工区)
契約の方法
指名競争入札
契約金額
1億8千36万円
契約の相手方
中津川市中川町3番24号
株式会社 加藤工務店

損害賠償の額の決定

(全会一致)

平成23年7月、患者は、認知症の症状があるとして市内開業医から市民病院脳神経外科の紹介となり、アルツハイマー型認知症と診断された。その後、外来にて治療が続けられたが、認知症の症状は徐々に進行し、平成26年7月、患者は高齢者介護施設で入浴中、全身脱力と頭痛を訴え近隣病院を受診、も膜下出血と診断され、市民病院脳神経外科に紹介・転送された。

市道路線の認定

(賛成多数)

リニア岐阜県駅周辺土地区画整理事業に伴い、一般県道美濃坂本停車場線を市道に認定し、一貫した道路管理をするものです。
・坂本292号線

市道路線の変更

(賛成多数)

東濃東部都市間連絡道路の整備に伴う道路線形変更により、終点を変更するものです。
・坂本289号線

市道路線の廃止

(全会一致)

一般交通の用に供されなくなったため、廃止するものです。
・神坂38号線

中津川市病院事業の設置等に関する条例の一部改正

(全会一致)

中津川市民病院の標榜診療科の名称を「神経内科」から「脳神経内科」に変更するため、改正するものです。

中津川市職員の給与に関する条例等の一部改正

(賛成多数)

人事院勧告に基づき、平成30年度における民間給与との較差を調整するため、改正するものです。内容は、職員及び市議会議員のボーナス0.05月分引き上げと職員給与改定(平均0.2%引き上げ)を行うものです。

指定管理者の指定

(全会一致)

次の施設の管理を指定管理者に行わせるため、指定するものです。
・指定期間 平成31年4月1日～平成36年3月31日
ただし、中津川市間ノ根観光栗園は、平成31年4月1日～平成34年3月31日

施設名	指定先
中津川市民運動場	三菱電機ライフサービス株式会社中津川支店
中津川市サンライフ	
中津川市勤労青少年ホーム	
中津川市東児童館	学校法人 恵峰学園
中津川市西児童館	
中津川市児童センター	
中津川市坂本ふれあい施設	
中津川市にぎわいプラザ駐車場	名鉄協商株式会社
中津川市間ノ根観光栗園	一般社団法人 中津川観光協会



中津川市サンライフ



児童センター

賛否が分かれた議案の議決結果

議案	会派		中津川市民クラブ										市民クラブ	新政	公明	ネ	無	共	議決結果					
	氏名	氏名	鷹見憲三	大堀寿延	勝彰	岡崎隆彦	吉村浩平	柘植貴敏	島崎保人	水野賢一	森益基	吉村孝志	吉村久資	榎松直子	牛田敬一	鈴木雅彦	三浦八郎	鈴木清貴		田口文数	佐藤光司	粥川茂和	木下律子	
平成30年度中津川市一般会計補正予算(第8号・第9号)	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
平成30年度中津川市病院事業会計補正予算(第2号)	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
市道路線の認定について	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
市道路線の変更について	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
中津川市職員の給与に関する条例等の一部改正について	賛	議長	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	可決
消費税率の10%への引き上げを中止することについて意見書提出を求める請願	否	議長	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	否	不採択

※ 新政：新国会、公明：市議会公明党、ネ：市民ネット21、無：無党派、共：日本共産党

陳情

(要旨のみを掲載しています。陳情の全文は中津川市議会公式ホームページに掲載)

消防団条例第17条の警戒の自宅待機を手当の対象から外す事に関する陳情

陳情要旨	消防団員は、大雨警報が発令された時点で団長からの命令により自宅待機しているとの事ですが、誰も確認していない為、偽ることも可能であり、本当に自宅待機しているかも信用できませんので自宅待機を手当の対象から外す事を求めます。
審査結果	・本件に関係すると思われる訴訟が提起されている為、委員会のまとめとしては、「市に対して訴状が届き、係争中の事件との関連があると思われるため、委員会としての意見は差し控えます」としました。(総務企画委員会)

国指定史跡苗木城跡一帯の観光地化推進に関する陳情

陳情要旨	近年、苗木城跡への訪問客増大は、地元として大変喜ばしいことであります。この状態を一時的なものとして看過するのではなく、さらに充実発展の方途を早急に施策化していく必要があり、歴史と文化の拠点として苗木城跡一帯の観光地化を進めて頂きたい。
審査結果	・苗木城跡及びその周辺地域は観光分野における急成長は事実であり、これを一過性のものにするには相応しくない。行政は、できることから取り組み、地域と一体となり対応するよう執行部に申し入れを行う。(産業建設委員会) (後日、議長名の文書により執行部に申し入れを行いました。)

予算決算委員会報告(補正予算)

(11月28日・12月17日)

(賛成多数)

平成30年度 12月補正予算の概要

下記の編成方針により、予算が計上されました。

- ① 国・県補助金等を活用する事業
- ② 寄附金を財源とする事業
- ③ 緊急対応が必要な事業
- ④ その他(繰入金)
- ⑤(追加)当初予算編成後の人事異動及び人事院勧告等による人件費の補正



■補正を行う会計

●一般会計	427,860千円
●特別会計	
・国民健康保険事業会計	△12,425千円
・下水道事業会計	59,098千円
・農業集落排水事業会計	8,644千円
・特定環境保全公共下水道事業会計	△7,524千円
・介護保険事業会計	△8,366千円
●企業会計	
・水道事業会計	△5,070千円
・病院事業会計	22,081千円
合計	484,298千円

請願・陳情

(要旨のみを掲載しています。請願・陳情の全文は中津川市議会公式ホームページに掲載)

消費税率の10%への引き上げを中止することについて意見書提出を求める請願

(賛成少数・不採択)

請願要旨	前回の8%増税後の経済への深刻な影響は続いており、更なる増税は日本経済にとって大きな打撃になることは必至です。従って下記項目について国に意見書を提出して下さい。 ① 消費税率10%への引き上げを中止すること。 ② 消費税の「軽減税率」、「適格請求書(インボイス)」は撤回すること。
総務企画委員会意見	・10%に引き上げた税収の使用目的がはっきりしており、これに代わる税制度は無いことから中止は考えられない。 ・運用面において複雑多岐にわたることが心配されるが、現在政府において検討されているので注視していくべきである。 ・景気に対する影響が心配されるので現行の8%のままでいくべきである。 ・インボイスなど極めて複雑なので現行のままが良いと思います。

難聴児補聴器購入費等助成事業の支援拡充に関する請願

(全会一致・採択)

請願要旨	聴覚障害のある子にとって、補聴器はコミュニケーション能力を身につけ、円滑な日常生活を送るために欠かせない補装具です。18歳未満で障害者手帳が交付されない30デシベル以上70デシベル未満の軽度・中等度難聴児で、医師が補聴器の装用が必要と判断した者に対し、補聴器やイヤーマールドの購入、及び補聴器の修繕に必要な支援の拡充を切望します。
文教民生委員会意見	・医師が補聴器の装用が必要と判断した方に対し、更なる拡充がなされることを望む。 ・他市より手厚い助成がなされるべき。子育てをする親にとって更なる希望に繋がる。 ・発達に必要な補装具であり、就学児にまで必要に応じて助成されることを望む。 ・難聴児とそのご家族は大変難儀をされているので、この請願趣旨に賛同する。

中部電力のリニア送電線に関する陳情書

陳情要旨	景観を損ない、電磁波による被害のおそれなどの心配があり若山地区住民の意向に沿い、若山地区周辺の高山財産区苗木財産区内には高压電線、鉄塔を建てることの無いよう要望します。
審査結果	・中津川市も地域と中部電力との協議に可能な限り参画し、協力、助言をしていただき、対応するよう執行部に申し入れを行う。(産業建設委員会) (後日、議長名の文書により執行部に申し入れを行いました。)

消防団条例第17条に基づき消防団員に対し10,962,600円の支払いを求める事に関する陳情

陳情要旨	消防団条例第17条には「団員には別表に掲げる手当を支給する」とあり、別表には「警戒」と記載があります。団長からの命令により自宅待機している団員は、警戒をしていることになり、警戒は消防団条例第17条の手当にあたる為、この条例に基づき消防団員に対し10,962,600円の支払いを求めます。
審査結果	・本件に関係すると思われる訴訟が提起されている為、委員会のまとめとしては、「市に対して訴状が届き、係争中の事件との関連があると思われるため、委員会としての意見は差し控えます」としました。(総務企画委員会)

※陳情は、採決の対象になっていません。

常任委員会報告

◆総務企画委員会

10月22日

〔所管事務調査(定住推進部)〕

○住民自治組織とまちづくりについて

市民協働の推進とまちづくり協議会の取り組み等について調査しました。

現状・課題

区長会単位を基本として現在13のまちづくり協議会が設立されていて、様々な活動が行われています。中津三地区(東・南・西)は未設置であり、区長会として活動しています。地域間で活動に温度差が生じてきていることや自主財源の確保等が今後の課題です。

今後の対応

まちづくりを進めて行く上では、行政や住民の役割と責任を明確化していくことが必要であると思われま。

委員会のまとめ

まちづくりに関しては、様々な団体の活動についてを議論していく必要があります。

◆文教民生委員会

10月15日

〔所管事務調査(健康福祉部)〕

○介護予防について

中津川市の高齢者の状況と介護予防事業の取組み状況について調査しました。

現状・課題

中津川市の要介護認定率は、国より低く県より高い状況ですが、平成26年度から横ばいを維持しています。また、要介護認定となった方の原因は、認知症が一番多い状況であることから、介護予防事業の必要性が更に高まっています。

今後の対応

要介護認定とならないよう、生活機能や運動機能の維持・向上を図る10項目の介護予防事業に取り組んでいます。

委員会のまとめ

高齢者の生活機能の向上、健康寿命の延伸、社会保障費の抑制のため、介護予防事業は欠かすことができない事業であり、今後更に充実、強化を図る必要があります。

◆産業建設委員会

11月16日

〔所管事務調査(商工観光部)〕

○工業振興の現状と取組みについて

リニアを見据えた工業振興の取組みを調査しました。

現状・課題

課題は事業用地の不足、労働人口の減少に伴う人材不足への対応策があり、平成4年の中核工業団地以降まとまった事業用地の整備をしておらず、企業立地の問い合わせが年々増加しているが売れる土地がなく、働く場の選択も少ないのが現状です。

今後の対応

中津川西部テクノパークの整備を行い、若い世代の選択肢となるよう幅広い分野の企業誘致を進め、企業立地奨励金などの活用により、中津川市の稼働力・雇用力・活性化を生み出します。

委員会のまとめ

移住定住の条件として働く場所が必要であり、選択肢が多くなければならないと考えます。どこにも負けない当市の産業振興にさらなる努力をしていただくことを提言しました。

① 国・県補助金等を活用する事業

50,620千円

- 農地・担い手対策事業 28,290千円
9月4日の台風21号で被害を受けた農業用施設の再建・修繕・撤去の助成
- 下水道整備事業(中津川処理区) 9,063千円
- 下水道管渠布設工事等(坂本処理区) 64,227千円
- 下水道施設長寿命化対策事業 △26,260千円
中津川浄化管理センター改築更新工事費減額
- 特環下水道施設長寿命化対策事業 △18,000千円
計画的な改修の策定委託の減額
- 特環下水道整備事業 △6,700千円
福岡・付知クリーンセンターの定置式脱水施設を移動脱水車に変更の設計委託

② 寄附金を財源とする事業

1,066千円

- 小学校教育振興事業
教育基金への積立 ㈱高峰楽器製作所様
- 小中学校・保育園等の図書充実等のため
小南誠謙(付知町出身)
付知中学校、付知北小学校・付知南小学校、
付知保育所等公立保育園9園、公立幼稚園6園

④ その他

16,409千円

- 他会計繰出金 16,409千円
下水道事業会計、特環下水道事業会計

繰越明許費の補正

430,800千円

- 一般会計
- ①橋りょう新設改良事業 177,000千円
新深沢橋、第二中井外橋、三管橋など
- ②交通安全施設設置事業 50,000千円
太田～恵下線
- ③道路新設改良事業 323,000千円
坂本290号線
- ④青木斧戸線道路整備事業 490,530千円
青木斧戸線、駒場線
- ⑤リニア中央新幹線関連掘削点整備事業 110,000千円
東濃東部都市間連絡道路、坂本58号線ほか
- ⑥リニア駅周辺土地区画整理事業 35,000千円
- ⑦下水道事業会計繰出金事業 7,900千円
- 下水道事業会計 81,000千円

※繰越明許費とは…
経費の性質や予算成立後に、なんらかの理由でその年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて、議会の議決を得て、翌年度に限り繰り越して使用できる予算のこと。

③ 緊急対応が必要な事業

524,134千円

- スポーツ政策事業 1,253千円
米国レスリング協会が当市を2020東京五輪の事前合宿地に決定。米国で開催される国際大会に合わせ、協定の調印式を行うための旅費等
- 総合政策事務事業 39,811千円
・ふるさと納税が予定金額を上回る(1億円→2億円)見込みのため、返礼品の報償費等・リニアを活用したまちづくりを推進するための構想策定に向け、各界各層による会議開催
- 法人保育所事業 4,322千円
国庫・県補助金返還額
- 行政情報化運営事業 1,900千円
地域イントラネット設備支障移転工事(川上(かおれ))
- 事務所総務事業 341千円
H31年4月から山口地区馬籠地域の行政区域を神坂地区に編入するための委託業務
- 高齢者福祉施設等運営事業 2,271千円
燃料単価高騰による増額(川上保健福祉施設かたらいの里、福岡健康増進施設ほっとサロン)
- 坂下病院繰出金事業 249,000千円
資金不足解消のため、臨時的に補助を行う
- 坂下老人保健施設繰出金事業 48,000千円
移設に伴う支出による資金不足に補助を行う
- 住基ネットワーク事業 681千円
住基ネットが接連携切替業務委託
- リニア駅周辺土地区画整理事業 131,000千円
リニア本線と交差する都市計画道路中洗井線の道路詳細設計等
- 病院事業 4,000千円
医療過誤の和解合意に伴う損害賠償金
- 納付消費税の増額 16,032千円
下水道事業会計
- 農業集落排水事業会計 8,281千円

⑤当初予算編成後の人事異動及び人事院勧告等による人件費の補正

総額△107,931千円

- 一般職員(人事院勧告の給料・手当、共済費、異動・退職)
- 特別職(共済費)
- 議員(期末手当)

債務負担行為の補正

- リニア岐阜駅周辺施設事業用地費
・限度額 540,000千円 ・期間 H31～40年度

リニア中央新幹線対策特別委員会報告

先進地行政視察

11月20日・21日

◆石川県白山市

白山総合車両所の概要等について

概要

新幹線車両の検査・修繕・清掃等を行う車庫と整備工場を併せ持つ、JR西日本では2カ所目の総合車両所です。
北陸新幹線開業までのあゆみ、組織体制、行われている業務の概要と配置及び当に対応した設備の特徴についてご講義いただいた後、現場を案内していただきました。
併せて、地域住民の方々に対する対応等についても学ばせていただきました。

委員会のまとめ

整備新幹線との違いもありますが、当市西山地区にできるリニア車両基地の出来上がった姿、中で行われる業務の概要及び開業までの工程を想像するにたる資を得ることが出来ました。



JR西日本 白山総合車両所にて（石川県白山市）

◆富山県黒部市

「黒部宇奈月温泉駅周辺地区 都市再生整備計画事業」について

概要

事業の概要、地域経済への影響等と課題、用地取得に係る問題点及び解決方法、観光への波及効果についてご講義いただいた後、駅周辺を視察させていただきました。
旧来からの中心市街地、宇奈月温泉及び本社機能が移転したYKK工場への二次交通アクセスの整備、駐車場の整備に特徴がありました。今後、現状からいかにしていくかが課題でもあるとのことでした。また、5年後までに解放される関西電力所有・管理の黒部第4ダムまでの交通アクセスを活用した観光開発が、今後の重点であるとのことでした。

委員会のまとめ

リニア岐阜県駅の地勢的環境、観光産業のみならず各種産業への波及効果を最大限に引き出すための二次交通の構築とその基盤整備を早急に進めていくことが必要と考えます。

病院・医療等対策特別委員会報告

11月6日

坂下病院の現状

- (1) 新公立病院改革プランの主な取組み
 - ・坂下病院の夜間・休日の救急患者受入中止
 - ・坂下病院の手術を市民病院に集約
 - ・坂下老人保健施設を坂下病院内に移設 など
- (2) 坂下病院の医療機能(平成30年9月現在)
 - ・入院・療養病床50床
 - ・外来・内科・小児科・泌尿器科・整形外科・婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・皮膚科

今後について

- ・坂下病院の平成31年3月の資金残高について、2億6千500万円の資金不足が発生する見込みであり、12月議会で追加の財政支援(補正予算)が必要と考えられる。
- ・坂下老人保健施設も約4千800万円の資金不足が見込まれる。
- ・経営改善に向け、今後は坂下病院の外来機能のあり方を十分検討する必要がある。
- ・現在、坂下病院の入院機能の抜本的見直しを検討している。

民営化導入の課題

- ・指定管理者制度を導入した場合の想定費用
 - 〈初年度(平成32年度)の最大支出想定額〉
 - 人件費負担、運営費補助など
 - 合計 10億5千900万円
- ・指定管理者制度導入には課題も多く、今回興味を示している法人からいくつかの条件が出されている。また、指定管理者制度導入に約10億円の初期費用が見込まれることなども考慮し、総合的に判断する必要がある。

委員会のまとめ

坂下病院の経営概算シミュレーションのうち市の負担が最も少ないのが、民営の無床診療所で、概算額5億7千200万円となっています。将来にわたる中津川市全域の医療体制を総合的に検討していただき、坂下病院の今後の在り方に向けて、市長は勇気を持って方針決定していただきたい。

公立病院に関する市長方針の見直し骨子

12月18日

坂下病院は、療養病床型の有床診療所とし、必要な外来診療、在宅医療、終末期医療などの慢性期医療を担い、市民病院は急性期、回復期の医療

を担う役割分担とし、2つの医療機関で中津川市の医療を支える仕組みを構築する。

坂下病院

- ・外来機能は、医師確保が可能な診療科を残す。
- ・継続する外来診療科
- ・内科・小児科・整形外科・眼科・透視
- ・高額医療機器を利用する精密検査等は市民病院に集約し、経費削減に努める。
- ・有床の診療所とし、療養病床(19床以下)を維持するとともに在宅医療の強化に努める。
- ・今回の見直しの段階では民営化の方針決定は困難であると判断したが、引き続き民営化の調査検討に努める。

中津川市新公立病院改革プラン

計画の最終年度である平成32年度に向け取り組んでいくが、無床診療所化や民営化等を含め、改めて必要な見直しを行う。

委員会のまとめ

坂下病院については療養病床型の有床診療所として慢性期医療を担う事になりましたが、地元住民に対しては丁寧な説明を行って頂くことを強く要望します。

一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は8人の議員が行いました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。



リニア開業と高齢化社会に向けた二次交通の整備について

鈴木 雅彦

問 リニア中央新幹線対策特別委員会で、11月21日、富山県黒部市へ黒部宇奈月温泉駅周辺地区都市再生整備計画事業について視察しました。リニア岐阜駅の地勢的環境、観光産業のみならず各種産業への波及効果を最大限に引き出すための二次交通の構築とその基盤整備を早急に進めていくことが必要と考えます。併せて、高齢化社会に対応した交通手段の対策が必要と考えますが、どのように考えていますか。

答 リニア中央新幹線の波及効果を広域に活かすには、リニア駅から二次交通への乗り換えなどの利便性の確保に加え、アクセス圏域の拡大に向けた道路ネットワークの整備と、鉄道やバスなどの二次交通ネットワークの再構築が必要と考えております。また、高齢化社会が進む中で、自動運転車の活用や公共交通空間等のバリアフリー化を図ることにより、誰もが安全安心に移動できる交通環境の形成も重要と考えております。

(リニア都市政策部長)



SDGs(エスディーエス)について

田口 文数

問 持続可能な開発目標(SDGs)とは、ミレニアム開発目標(MDGs)の後継として持続可能な開発のための2030アジェンダに記載された2030年までの国際目標です。①政府の実施指針は、地方自治体における各種計画などの策定にSDGsの要素が最大限に反映されることを奨励しています。当市も総合計画や各種計画にSDGsの理念を取り入れては、②持続的発展の実現を目指し、中津川川口の推進本部(仮称)を立ち上げては。

答 ①今後の市の総合計画等各種計画の改訂にあたっては、当市の政策や施策の目標が、SDGsのどの目標に当てはまるのかを意識すること、SDGsの考えを反映させてまいりたいと考えています。②まずは、国がSDGsに選定した自治体における先進的な取組みや成功事例をよく研究した上で、その必要性等を見極めてまいりたいと考えております。

(政策推進部長)



外国人増加の対応について

勝 彰

問 今、中津川市は働く世代の急激な減少のため、有効求人倍率2以上という県内一番の人材不足の状況です。様々な課題はありますが外国人増加は避けて通れないのが現状です。中津川市に働く意欲のある優秀な外国人の方に来ていただくためには、中津川市外国人受入れ指針を早急に作成し、安心安全な中津川市ものづくり中津川市が、未来に続くようお願いします。

答 今後、中津川市で暮らす外国人が増加すると考えられます。外国人を含めた市民が互いの違いを認め、分かれ合い、支え合い、安全・安心に暮らせる多文化共生社会の実現に向けて、平成31年度を目途に指針を作り、基本計画の策定に取り掛かりたいと考えています。内容については、在日外国人の労働、教育、防災、医療等に係る受入れ態勢の整備・推進と、外国人が参画しやすい地域づくりを念頭に考えています。

(総務部長)



市有財産(施設)運用管理マスタープランについて

牛田 敬一

問 中津川市の施設維持管理経費は、年間31億円、1日約850万円使われることに年々増えています。①当面の削減目標6億円に対する達成率を伺います。②維持管理経費の約3割を占める委託料を見直しするなど、割合の高い項目から見直す考えはありませんか。

答 ①平成30年度までの目標額3億3千110万円に対する現在までの削減額は、達成率は47.4%で、6億円に対する達成率は、26.18%です。②委託料については庁舎等の管理委託の一括発注や長期契約等で削減に取り組んでいます。が、受託者側の人件費の増加等により大幅な節減には至っていません。また、電気料金については新電力に切り替えたり従来からの契約での想定料金に比べ平成25年度から平成29年度の5年間で7千119万5千円の削減となっており。

(財務部長)



地域要望について

粥川 茂和

問 坂下まち協とのJR坂下駅の乗車券販売委託契約について、販売手数料だけの収益では資金不足になることは明らかであった。市が交渉力に勝っていたとすれば、面者が良い内容となるよう、思いやりのある対応があったも良かったのではないかと。

答 平成24年に坂下駅を無人化することがJRから示され、地域に相談したところ、地域も何とかしたいという思いから、まちづくり協議会が乗車券販売を受託することになりました。坂下駅の運営費は、手数料収入だけでは運営が困難であることは、当初から分かっていました。そこで3、4年の間に駅舎の活用研究等、他の財源確保を行うようまちづくり協議会に提案してきましたが、現在に至っていません。これまでの間に進捗を確認するべきであったという反省の思いがあります。

(定住推進部長)



平成31年度当初予算について

吉村 久資

問

計画期間が、平成31年度から34年度の市総合計画中期事業計画及び市財政計画が策定されました。それぞれの計画の初年度にあたる平成31年度当初予算について、編成方針とそれに基づく主要施策、いわゆる事業の柱について伺います。

答

将来、若者に当市に働き住んでいただく、そうした魅力あるまちづくりという大きなテーマも入っています。加えて、マスタープランをしっかりと進めながら将来に備える第一歩と位置付けた中で、平成31年度予算編成の指示をしました。

主要施策、事業の柱につきましては、「リニア開業に向けた基盤整備」と「若者の地元定着・移住促進の強化」の2つを掲げました。具体には、駅周辺やアクセス道路などの基盤整備により、当市を訪れる人々の受入態勢を整備すること、未来を担う若者の市外流出の抑制と地元定着を図る取組みなどに力を入れてまいります。



(財務部長)

葉山嘉樹・鳥崎藤村の宣伝について

佐藤 光司

問

10月14日に葉山嘉樹没後73周年碑前祭が行われ、60名ほどの参加者がありました。葉山嘉樹は当市で生活し、妻の菊枝さんは当市新町で育ちました。しかし、葉山嘉樹が市民に知られていません。国道19号(釜合地区)に案内掲示板が必要だと思います。鳥崎藤村を含め両者のポスターを張り出したら観光誘客の一因となると考えますがどうですか。

答

当市にゆかりのある偉人を市民や観光客などより多くの方々に知っていただくことは大切なことだと考えています。葉山嘉樹記念碑は、国道19号へ案内看板を設置する方法ではなく、別の方法で宣伝していきたいと考えています。また、鳥崎藤村を含めた両者のポスターの張り出しは、車でみえる方も多いので、観光パンフレットに掲載するのも良い方法と考えています。



(文化スポーツ部長)

坂下病院一般病床の復活を!

木下 律子

問

当市が取り組まれたアンケートでも市民病院等の医療の充実が最も多く、市民の願いも公立病院等の医療の充実です。私たちの取り組んだアンケートで坂下病院の病床削減については削減賛成8%、反対65%で、反対が多数です。8月に一般病床が廃止になり、市民は悲しがっています。手術室の復活、一般病床の復活はできませんか。

答

坂下病院に手術室及び一般病床の復活はできないと考えています。手術室と一般病床を市民病院へ集約することは、中津川市新公立病院改革プランの方針とおりに進めている取組みです。したがって、中津川市新公立病院改革プランに変更がない限り、坂下病院に手術室と一般病床の復活はできないと考えています。



(病院事業部長)

総務企画委員会先進都市行政視察報告

◆千葉県君津市

「君津市公共施設等総合管理計画」について

10月10日

【目的】

公共施設等の再編、整備等による維持経費などの削減を図る取組みについて視察しました。

【概要】

平成28年に総務省からの要請を受けて、君津市公共施設総合管理計画を策定。市の最上位計画である君津市総合計画をはじめ、各所管の関連計画と整合性を図り、庁内の横断的な行動計画と位置つけて公共施設等の更新期に合わせて計画を策定。

【委員会のまとめ】

当市の市有財産・運用管理マスタープランが、遅々として進んでいない中で長期的な視野に立つて取組みを実行されている君津市に倣い、果敢に取組みを実行する必要があります。



◆千葉県香取市

「香取市まちづくり条例に基づく住民自治協議会の活動」について

10月11日

【目的】

市民協働による活動を展開できる仕組みづくりの取組みについて視察しました。

【概要】

平成23年に制定された香取市まちづくり条例に基づき、市内の小中学校区単位程度の範囲において、地域で活動する様々な主体が集まり、住民自治協議会(まちづくり協議会)を組織し、福祉・防災・教育の推進、環境の保全、文化・産業の振興等地域のまちづくりが進められています。

【委員会のまとめ】

協議会に対する支援策は、当市とほぼ同じですが、人的支援は見習うべき取組みであり、当市の取組みを進めるにあたり、提言していきます。

◆埼玉県富士見市

「健全な財政運営に関する条例」について

10月12日

【目的】

全国で三番目に条例を施行された財政運営の取組みについて視察しました。

【概要】

平成24年に健全な財政運営に関する条例を施行され、①財政規律の確保、②計画性の確保、③財務情報の共有化を基本として、①首長による恣意的運営の防止、②使用料等の定期的な見直し、③議会の関与の明確化、④市民の関心力などの効果を生んでいます。

【委員会のまとめ】

当市では、今後更に多額の経費を必要とする上下水道の整備、斎場の建設、公立病院の運営など大きな事業を進めなくてはなりません。先進の取組みに倣い、当市の財政運営について提言していきます。

文教民生委員会先進都市行政視察報告

◆栃木県大田原市

【大田原図書館（トコトコ大田原4階）について】
10月23日

【目的】
中心市街地の複合施設に併設された図書館を調査するため視察しました。

【概要】

トコトコ大田原は、中心市街地活性化基本計画に沿って、市街地活性化の核となる商業施設とまちなか居住を促進する住宅、市民サービスを充実させる公共施設（大田原図書館、子ども未来館、市民交流センター）を併設し、市街地の機能強化を目的に建設されました。図書館の利用状況は、ことも未来館の影響もあり、幼児を連れた家族、放課後・休日の高校生や若い世代の利用者が増加したため、旧図書館の利用状況と比較し年間3万人ほど増加したことで、周辺の市街地にも影響を与えているとのことでした。

【委員会のまとめ】

当市が「新図書館構想検討委員会」を設置し、計画立案を進めるにあたり、中心市街地のにぎわい創出及び複合施設での図書館建設を視野に計画していただくことを提案します。

◆埼玉県和光市

【介護予防】について
10月24日

【目的】
地域包括ケアシステムを含む介護予防の取組みを調査するため視察しました。

【概要】

和光市では、団塊世代が後期高齢者になった時、いかに介護の重度化を防止するかをテーマとして重度化防止、介護予防、自立に向けた取組みを行っています。その成果として、要介護度5の方が平成20年の128人から平成26年の97人に減少するとともに、要介護認定率については、全国においては18.3%ですが、その半分近い9.7%となっています。また、各圏域ニーズ調査により個々の高齢者及び地域の課題を把握し、それを介護保険計画等の各種計画に反映・連動させることで地域包括ケアシステムを構築しています。

【委員会のまとめ】

地域包括ケアシステムを構築するには、ニーズ調査による高齢者の実態をきめ細かく把握すること、効果的な介護予防の効果や介護保険計画等に結びつける必要があります。

◆埼玉県加須市

【学童保育】について
10月25日

【目的】
日本一子どもを産み育てやすいまちづくりを目標に、積極的に実施している子育て支援の取組みを調査するため視察しました。

【概要】

加須市では3つの運営形態があり、公設公管では保育料が安い、運営事務の負担が少ないというメリットに対し、公設民営及び民設民営では保育料が高い、運営事務の負担が大きいというデメリットがありました。学童保育の課題は、待機児童と指導員の確保が上げられていましたが、待機児童では施設の設置等により1年半で約140名減少しました。また、指導員の確保については指導員募集のPRと賃金アップの働きかけを行い課題解決に取り組んでいました。

【委員会のまとめ】

学童保育所は、子どもの安全安心と健全育成、更には保護者の就労支援に欠かすことができないため、施設整備と並行し、指導員の確保に更に力を入れる必要があります。

産業建設委員会先進都市行政視察報告

◆滋賀県米原市

【鳥獣対策】について
10月16日

【目的】
当市の鳥獣被害は深刻であり、防ぐ対策も必要ですが、数を減らす先進的な対策を視察しました。

【概要】

これまでの対策は、個人や狭い範囲での対策で適切な管理が継続して行われておらず、根本的な改革が必要と考え、集落ぐるみの計画的、総合的な対策を推進・支援することを目的に獣害対策マスタープランを策定し、どこで、何が、どれだけ必要なのかをマップにより見える化を図り、平成26〜30年までの5年間、市独自の交付金による支援を行っています。鹿に特化していますが、情報通信技術の遠隔操作を使い、群れを一網打尽に捕獲していました。

【委員会のまとめ】

情報通信技術によるわなは、駆除隊員の高齢化などを考えると有効であると考え、当市でも検討が必要です。

◆福井県小浜市

【ふるさと名物応援宣言】について
10月17日

【目的】
小浜市は国の事業により、ふるさと名物応援宣言をしており、当市のふるさと名産品を有効にPRすべきと考え視察しました。

【概要】

平成13年に全国初となる食のまちづくり条例を制定し、食を切り口にしたまちづくりに力を入れています。食を語るに欠かせない小浜市名物の若狭塗箸は、国内生産高トップシェアを誇っています。中小企業基盤整備機構との交流から、ふるさと名物応援宣言を行なうにあたりいくつかの問題点を議論の末、商工会議所などの意見を踏まえ宣言が市の総合戦略と合致している、中小企業の知名度アップにもなるとして、ふるさと名物応援宣言をしました。

【委員会のまとめ】

ふるさと名物応援宣言には、若干の手間がかかるものの当市の産業活性化につながるものと理解しました。

◆福井県福井市

【観光おもてなし市民運動】について
10月18日

【目的】
観光誘客に対する姿勢を視察し、観光客の増大に繋げていきたいと考え視察しました。

【概要】

平成30年の福井団体、障がい者スポーツ大会、その後の北陸新幹線福井開業など、観光客拡大の好機が集中する転換期を迎えているものの、広域観光とインバウンド観光が急務であること、福井市民が福井のことを知らない、自信がない、環境が不十分などの課題があります。「ふるさつっぴいのおもてなしで温かく迎え、また来たいと思っていたらいいよう、観光おもてなし市民運動推進協議会を立ち上げ、一般市民、各事業所などを対象に講習会を行い、市民総ぐるみの運動として推進されました。

【委員会のまとめ】

当市もニアの開通により観光誘客が更に見込まれることから、市民の皆様が当市を知り自信をもって語れる施策が必要です。



市議会インターネット中継を ご覧ください

◇市議会(本会議・委員会)は
インターネットで放映しています。

パソコン、スマートフォン、タブレットでご覧いただけます。(生中継・録画)

※スマートフォン、タブレットでの録画配信は、2019年度(平成31年度)から運用開始となります。



◇各総合事務・地域事務所での市議会の放映は、平成31年3月をもって廃止させていただきます。

恐れ入りますが2019年度(平成31年度)以降は、パソコン、スマートフォン、タブレットでご覧いただくか、市役所にて傍聴いただきますようお願いいたします。

認知症サポーター 養成講座を受講

当市議会議員が市健康福祉部、地域包括支援センターの皆様を講師に認知症サポーター養成講座を受講しました。

(平成31年1月8日 中津川市役所にて)



〈さりげなく〉〈自然な援助〉〈あたたかい見守り〉が大切だと学びました。



受講終了の証にオレンジリングをいただきました



議員連絡協議会	(1回)
議会改革特別委員会(協議会含む)	(1回)
病院・医療等対策特別委員会	(2回)
議会議事録(協議会含む)	(1回)
リニア中央新幹線対策特別委員会	(6回)
議会運営委員会	(2回)
予算決算委員会	(2回)
産業建設委員会	(3回)
文教民生委員会	(2回)
総務企画委員会	(4回)

議会開催状況 10月5日～12月21日

2月25日(月)	10時	本会議(初日)
3月6日(水)	10時	一般質問
3月7日(木)	10時	一般質問
3月11日(月)	10時	総務企画委員会
3月12日(火)	10時	文教民生委員会
3月13日(水)	10時	産業建設委員会
3月14日(木)	10時	予算決算委員会
3月15日(金)	10時	予算決算委員会
3月18日(月)	10時	予算決算委員会
3月19日(火)	10時	予算決算委員会
3月26日(火)	10時	本会議(最終日)

平成31年3月定例会の日程



▼本市議会だより4ページを使い、平成30年度市民と議会の対話集会について掲載しました。昨年度より17名多い321名の参加を頂き、意見・要望も含め対話をさせて頂きました。皆さんの声を真摯に受け止め、今後の議会・議員活動につなげてまいります。

▼12月定例会会期中に、中津川市公立病院に関する市長方針の見直しを市長より示されました。病院・医療等対策特別委員会は、丁寧な住民説明を求めました。

▼定例会ごとに中津川市の産品を議場に飾っていますが、12月定例会は昨年同様シクラメンを飾りました。

編集後記